学校教育目標

「主体的に学習し、感性豊かな心をもち、

心身ともに調和のとれたたくましい児童の育成」

進んで学ぶ 豊かな心 たくましい体

児童の願い

保護者の願い

地域の願い

教師の願い

社会の願い

研究主題

主体的に学習し、共に学び、高め合う児童の育成

~日常生活に生きて働く知識及び技能の確実な習得と思考力を高める授業を目指して~

目指す児童像

主体的に学習する児童

自己の学習活動を見通し、振り返り、次に つなげることができる児童 学びに対して興味関心の高い児童

共に学び、高め合う児童

対話的で深い学びを実現できる児童 児童同士の対話、教職員との対話、 先哲・資料との対話

く仮説1>

学習内容を「わかる・できる・使える」ことが実感できる場を設定することにより、 主体的に学習する児童が育つであろう。

く仮説2>

問いかけや交流の仕方を工夫し、互いの考えを深めていくことで、児童の思考を活性 化し、共に学び、高め合うことができるであろう。

研究の視点

学習方法の工夫

学び合う場の工夫

発問の工夫

学習の見通し、 振り返りの工夫

授業研究部

○授業力の向上

- ○手立ての具現化
- ○効果的な研究協議会の 計画・実施

環境・調査研究部

- ○実態調査アンケートの 実施と分析
- ○校内掲示の計画作成
- ○算数体験コーナー作成

基礎学力研究部

- ○朝学習の推進
- ○チャレンジタイムの実施
- ○短作文の計画的実施